令和6年度 いのちの授業 事例集（幼稚園こども園）【言葉】

掲載数

2

地区	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 県西	年長	言葉	ちくつとことば・ふわつとことばを考えよう（自分も友だちも大切に）	大きな行事を経験する中で、友だちとのかかわりも深くなっていた。友だちとの距離感が近いからこそ、相手への言葉遣いや伝え方によってのトラブルは目立っていた。『ちくつとことば・ふわつとことば』の絵本を読み、クラスで考える機会を改めて設けた。ちくつとことば・ふわつとことば探しをしていると、同じ言葉でも口調や言い方によって、相手への伝わり方が変化することに気がついた。「今の言い方はふわつとだから嬉しいね」と、友だちに伝える姿や言い方を変える姿も見られた。自分が発した言葉によって、相手がどんな気持ちになるのか、一人ひとりが自分なりに想像して、考える時間となった。	絵本 『ことばえらび絵本 ふわふわとちくちく』 監修：齋藤孝 『ちくちくとふわふわ』 監修：松本えつを
2 県西	幼複合	言葉	平和ってどんなことなの？	毎日様々なニュースが子ども達の耳に届く。大変な世の中であるが、皆の生活はどうか？を子ども達と話し合ってみた。子ども達の年齢も違うため理解しやすい内容の「へいわってすてきだね」を用いて読み聞かせを行う。読み聞かせ後、友達と仲良く遊ぶことや、ご飯を食べたときなど日常の何気ないことが、平和なんだということが理解できた。また、地震や森林火災などの災害や戦争、世界で起きていることも話に出てきた。毎日の生活を過ごすことを大切にしたい気持ちを育むことができた。	